

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

わかやま歴史旅発信

2 地域再生計画の作成主体の名称

和歌山県

3 地域再生計画の区域

和歌山県の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

本県には、世界遺産の高野・熊野など、観光の拠点となる名所は多く、また、貴重な文化遺産も数多くあるが、これらの多くは点在しており、観光客を惹きつけるようなストーリーやテーマに沿ったつながりを構成できていない。

また、本県の外国人宿泊客数は、平成27年は43万人となり史上最高を記録したが、地域のしごとを創造するためには、富裕層や滞在期間の長い欧米豪からの個人観光客の誘客に向けた取組が必要である。

さらに、サイクリング（ポタリング）は観光地の散策ツールとして大きな可能性を有しているが、サイクリングをしながら観光を楽しめる周遊ルートや立ち寄りスポット等の情報を発信するツールや、サイクリストの利便性を高めるおもてなし環境が十分に整っていない状況にある。

4-2 地方創生として目指す将来像

国内外の観光ニーズに対応するため、「多世代」「多目的」「体験・発見」をキーワードとし、観光資源を守り、磨きをかけるとともに、それぞれの好みに応じた多様な楽しみ、癒やしを感じることができる「多彩な魅力に出合える観光地づくり」をめざす。

また、特定のテーマに沿った旅モデルを数多く発信していくことで多くの地域をつなぐとともに、地域を巡るツールを充実するなど、点ではなく面としての観光地づくりを推進する。

さらに、サイクリングの盛り上がり「歴史・文化」を活用した観光振興と融合することで、幅広い年代の観光客を呼び込むとともに、サイクリング関連産業の振興をめざす。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)

日帰り観光客数 (万人)	2,771	53	53	53
外国人宿泊客数 (万人)	43	13	13	13
サイクルステーション認 定数 (箇所)	68	100	100	100

	KPI増加分の 累計
日帰り観光客数 (万人)	159
外国人宿泊客数 (万人)	39
サイクルステーション認 定数 (箇所)	300

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

多様化する観光ニーズに対応するため、歴史や文化、自然、多様な食など、それぞれの観光資源が有する背景をストーリーでつなぎ、多くの地域を巻き込んだ周遊ルートを構築するとともに、それらを巡るツールの一つとしてサイクリングを推進し、その受入環境を整備する。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

和歌山県

② 事業の名称：わかやま歴史旅発信

③ 事業の内容

神話の時代から近代にいたる豊富な歴史ストーリーや歴史資産の「100の旅モデル」としての発信や「参詣道」を対象とした世界遺産等の魅力を満喫する体験型観光の提案・発信、本県の歴史・文化に興味を持ってもらうため、本県に縁のある偉人のシンポジウムの開催等により、多世代・多目的に対応した旅モデルを発信する。

また、滞在日数が長い欧米豪の富裕層を新たなターゲットとした観光プロモーションや外国人観光客の満足度を向上させるためのスキルアップ研修、ガイドブックの作成等を実施し、富裕層や外国人観光客等の長期滞在化に向けた取組を推進する。

さらに、サイクリング環境の充実をめざし、案内ツールの作成やサイクルステーションの拡充、観光施設の駐輪場整備を推進するとともに、サイクリングによる観光を

全国に発信するため、サイクリングイベントの開催や私鉄等とのタイアップによるPRを実施するなど、サイクリングを活用した観光振興に取り組む。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

県内全域をカバーする観光の振興については、県が主導的な立場で推進していくことが望ましく、一般財源による負担を行ってでも実施していくことが必要である。

各地域については、本事業の成果を踏まえ、地域独自の観光振興を推進していく。

【官民協働】

観光の振興は、観光客を呼び込むだけでも、もてなすだけでも成功しない。民間事業者、行政等がそれぞれの役割を果たすことで、持続可能な観光地づくりを推進する。特に、サイクリングの受入環境整備においては、地域の店舗等の協力が不可欠であり、行政がそれを支援する形で取組を推進していく。

【政策間連携】

これまでの観光振興策に、県内の伝統産業や新たなツールを組み込んで、「多世代」「多目的」「体験・発見」型の観光を提供することで、観光客の満足度を向上させて、観光客数や消費額の増加をもたらし、さらなる地域活性化を実現する。

【地域間連携】

地方創生加速化交付金を活用して構築した「戦国ルート」や世界遺産関連地域をつないだ長期滞在型周遊ルートを県内全域に広めることを目標に、県内全市町村で観光資源の掘り起こしやブラッシュアップを実施することで、点ではなく面としての観光地づくりをめざす。

【その他の先導性】

特になし。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
日帰り観光客数 (万人)	2,771	53	53	53
外国人宿泊客数 (万人)	43	13	13	13
サイクルステーション認 定数(箇所)	68	100	100	100

	KPI増加分の 累計
--	---------------

日帰り観光客数 (万人)	159
外国人宿泊客数 (万人)	39
サイクルステーション認 定数 (箇所)	300

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を和歌山県が取りまとめる。

【外部組織の参画者】

産学金の外部有識者による評価委員会で検証を実施し、検証結果を県議会半島振興・地方創生対策特別委員会に報告するとともに、目標値に届かない場合は事業内容の見直しを実施する。

【検証結果の公表の方法】

検証結果は県ホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 400,557千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日（3カ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) サイクリングロードの整備推進

事業概要：ブルーラインや案内標識の整備など、サイクリングに適した道路環境を構築するための取組を推進する。

事業主体：和歌山県

事業期間：平成29年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を和歌山県が取りまとめる。

【外部組織の参画者】

産学金の外部有識者による評価委員会で検証を実施し、検証結果を県議会半島振興・地方創生対策特別委員会に報告するとともに、目標値に届かない場合は事業内容の見直しを実施する。検証結果は県ホームページで公表する。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
日帰り観光客数 (万人)	2,771	53	53	53
外国人宿泊客数 (万人)	43	13	13	13
サイクルステーション認 定数(箇所)	68	100	100	100

	KPI増加分の 累計
日帰り観光客数 (万人)	159
外国人宿泊客数 (万人)	39
サイクルステーション認 定数(箇所)	300

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年度、和歌山県が3月末時点で県ホームページにより公表を行う。